製品安全データシート

作成日　2012年8月1日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	グリーン特号
会社名	サンアグロ株式会社
住所	東京都中央区日本橋本町1丁目10番5号　日産江戸橋ビル
担当部門	肥料本部 生産技術部
電話番号	03-3510-3610
FAX番号	03-3273-8432
緊急連絡先	サンアグロ株式会社　大阪工場 製造課
電話番号	06-6552-1212

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体　区分外
	自己発熱性化学品　区分外
	水反応可燃性化学品　区分外
	酸化性固体　区分3
健康に対する有害性	急性毒性(経口)　区分5
	皮膚腐食性／刺激性　区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　区分2
	呼吸器感作性　区分1
	生殖毒性　区分2
	特定標的臓器毒性(単回暴露)　区分2(血液)
	特定標的臓器毒性(単回暴露)　区分3(気道刺激性)
	特定標的臓器毒性(反復暴露)　区分2(血液)
環境に対する有害性	水生環境急性有害性　区分外
	水生環境慢性有害性　区分外
	上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

シンボル

注意喚起語	警告
危険有害性情報	火災助長のおそれ：酸化性物質
	飲み込むと有害
	皮膚刺激
	強い眼刺激
	呼吸器への刺激のおそれ
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
	血液の障害のおそれ
	長期又は反復ばく露による血液の障害のおそれ

注意書き

[安全対策] 使用前に取扱説明書を入手すること。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
可燃物と混合を回避するために予防策を取ること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

[応急措置] 飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の手当／診断を受けること。
火災の場合、適切な消火剤を使用すること。

[保管] 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

[廃棄] 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物

一般名　グリーン特号

成　分	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
硝酸カリウム	36%	KNO_3	(1)-449	既存	7757-79-1
硫酸アンモニウム	37%	$(NH_4)_2SO_4$	(1)-400	公表	7783-20-2
りん酸一アンモニウム 別名：りん酸二水素アンモニウム	17%	$NH_4H_2PO_4$	1-379	公表	7722-76-1
尿素	9%	$(NH_2)_2CO$	2-1732	公表	57-13-6

4. 応急措置

吸入した場合　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合　皮膚を速やかに洗うこと。
外観に変化が見られた場合は、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合　水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合　口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	製品自身は燃えないが、支燃性である。 可燃物(木、紙、油、布等)を発火させるおそれがある。 火災によって、刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から製品を移動する。 製品が熱に晒されている時は、移動しない。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護衣等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業に際しては適切な防護具を着用し、飛散しない方法で回収する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 風上に留まる。 密閉された場所に立入る前に換気する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項	河川等に排出され環境へ影響を起こさないように注意する。
回収・中和	漏洩物の除去や廃棄処理は専門家の指示による。 漏洩物に囲いをして、後で廃棄する。指示がなければ水をかけてはいけない。 漏洩物を回収した後、漏洩区域を大量の水で洗い流す。
封じ込め及び浄化方法・機材	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い、更にシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。
二次災害の防止策	可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	情報なし
局所排気・全体換気	情報なし
安全取扱注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 可燃物や酸化されやすい物質との混触を避けること。 飲み込みを避けること。 皮膚、眼との接触を避けること。 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。

保管

技術的対策	直射日光を避け、換気のよい場所で保管する。
保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 燃焼性物質及び可燃物から離して保管すること。
容器包装材料	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度(厚生労働省)	未設定
許容濃度	
日本産衛学会	未設定
ＡＣＧＩＨ	未設定
設備対策	屋内で取扱う際は、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	粒状
色	茶色
臭い	無臭
ｐＨ	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	引火せず
自然発火温度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	加熱や燃焼により分解し、有害なガスを発生する。
避けるべき条件	加熱、燃焼
危険有害な分解生成物	窒素酸化物、硫黄酸化物

11. 有害性情報

製品として	
急性毒性	情報なし
硝酸カリウムとして	
急性毒性(経口)	区分 5
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2(血液)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(血液)

硫酸アンモニウムとして

急性毒性(経口)	区分5
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分外

りん酸一アンモニウムとして

急性毒性(経口)	データなし

尿素として

急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2

12. 環境影響情報

環境に対する有害性	製品としての情報なし
生態毒性	製品としての情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規及び地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。 関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	ＩＭＯの規定に従う。
UN No.	1486
Proper Shipping Name	POTASSIUMU NITRATE mixture
Class	5.1
Packing Group	Ⅲ
Marine Pollutant	Not applicable
航空規制情報	ＩＣＡＯ／ＩＡＴＡの規定に従う。
UN No.	1486
Proper Shipping Name	POTASSIUMU NITRATE mixture
Class	5.1
Packing Group	Ⅲ

国内規制

陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	1486
品名	硝酸カリウム混合物
クラス	5.1
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	1486
品名	硝酸カリウム混合物
クラス	5.1
容器等級	Ⅲ
緊急時応急措置指針番号	140

15. 適用法令

労働安全衛生法	危険物・酸化性の物(施行令別表第1第3号)
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
消防法	第1類酸化性固体、硝酸塩類(法第2条第7項 危険物別表第1・第1類)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の1項 輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)
船舶安全法	酸化性物質類・酸化性物質(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

参考文献	１４０９６の化学商品(化学工業日報社)
その他	この情報は新しい知見により改訂されることがありますのでご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用者において行ってください。